

## 理数科で学ぶ・・・「サイエンス創造科」

今回は、理数科の実態・・・理系あるある！・・・のお話をします。

理系と言えば・・・ドラマに白衣で登場するクールな研究者や凄腕のドクターをイメージするでしょうか？或いは、ものづくりの技術に長けたエンジニアやパソコンを使いこなすSEが思い浮かぶでしょうか？・・・不思議と白衣や作業服はカッコ良くて、賢い感じがします。しかし、実際には実験や実習はとても現実的でシビア、基本的なことの積み重ねです。右のマンガを見てください。

### サイエンス科長のちょっと呟き

### 「理数科ということ」

理系に進むと、正直・・・勉強が難しいです。一行を理解するためには 行間10行くらいを埋めなければならないこともあるでしょう。

与えられた問題を解くだけでは不十分です。そこから派生した、答えがあるかどうか分からない問題を自ら探し出し、知恵を振り絞って解決に導く努力ができるようにがんばってみてください。サイエンス創造科の生徒には・・・わからないものや不思議を楽しむ心、知的好奇心も持って欲しいのです。

ちょっとしたことでも「なぜ？」や「面白い！」と感じとれる素直な心を持った大人は素敵だと思いませんか？ 将来、皆さんには社会を引っ張る立派な理系人間に育って欲しいと期待しています。

私はがんばる皆さんを3年間、全力で応援していきます。

(今)



白衣は、決して知的でクールな理系のオシャレアイテムではありません。実験者の身体に危険な薬液が付着しないように、安全のために着衣するものです。その着こなしも超真面目で野暮ったい着こなしが正解です。白衣の裾を翻してカッコつける心は大きな事故につながります。

ロングヘアの生徒は実験時は必ず髪を結んでください。考えているより簡単にガスバーナーの火は燃え移ります。また、アルカリの薬品が入ると目のタンパク質を壊しながらまっすぐ目の奥に向かって穴が開くこととなります。怖ろしい・・・必ず安全眼鏡を使用しましょう。

楽しく安全に実験を行うには心構えが大切です。まずは、実験説明をしっかりと聞き、理解しましょう。また、グループ内での意思疎通も必要です。

「他人の身を守れる状態は、自分の身も必ず守れる。」

グループ実験の基本マインドです。

(弥)

作 扇町書房

## 理系のたしなみ (白衣編)

